

2 ▶ 5

特集

6 ▶ 7

街かどReport

8 ▶ 13

Town Topics

14 ▶ 17

市政レター

18 ▶ 19

さやまポータル

20 ▶ 21

ほろみ

22 ▶ 25

施設情報・相談

26 ▶ 31

Living Information Smile



篠山のニューヒーロー「SASA-GROW(ササグロウ)」参上!(9月26日)

ささやまふれ愛フェスタ実行委員会の発案により今年新たに誕生した篠山のヒーロー「ササグロウ」が、西紀北小学校の1・2年生12人の前にやってきました。ササグロウは、黒豆に含まれるアントシアニンの力で、ふるさと篠山の美しい自然や人々を守る、心優しきヒーロー。今公演のテーマは「環境問題」で、悪の將軍たちがゴミ分別などのクイズを出すと、子どもたちは積極的に手を挙げて参加していました。そして、ササグロウが登場すると一同大歓声。そのかっこよさに魅了されていました。「黒豆を食べて応援してくれ!」と篠山市の子どもたちにメッセージを送るニューヒーローの誕生。今後の活躍が楽しみです。

篠山で唯一の「流鏝馬」神事奉納(10月6日)

畑宮の佐佐婆神社で10月5・6日の両日、400年の歴史がある伝統行事「はた祭り」が行われ、6日の本宮には神社と参道に設けられた3カ所の竹の的に矢を放つ「流鏝馬」が奉納されました。鮮やかな衣装に身を包み、化粧をした城北畑小学校6年生の畑育磨さんが馬上から矢を放つと、見物客から大きな歓声と拍手が湧き、幸福を呼ぶとされる縁起物の矢を取り合う場面も。運よく矢を手に入れた男性は「大切に家に飾っておきます」と話していました。



(写真右)「育正」の裏表紙

篠山小学校育正会広報紙が奨励賞受賞

篠山小学校創立140周年の記念事業に合わせて、篠山小学校育正会の皆さんが作成された広報紙「育正」が、全国小・中学校PTA広報紙コンクールで奨励賞を受賞しました。記念事業「ささ小 ありがとうプロジェクト」を紹介する記事では、お城の中にある小学校への愛着、ふるさと篠山を誇りに思う気持ちが伝わってきます。魅力ある写真とわかりやすい文章に苦心されたそうで、審査では、児童の集合写真と小学校の空中写真に手書きのメッセージを添えた裏表紙が評価されました。



アートで町屋が美術館に(9月14~16日・19~23日)

9月14~16日と19~23日の8日間にわたり、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている河原町妻入商家群で「まちなみアート丹波の國“芸術作家”展」が開催されました。まちなみアートは、芸術作家の皆さんが町屋を舞台にさまざまな芸術作品を展示し、歴史ある町並みそのものを美術館にするイベント。今回は、大丹波(綾部市、亀岡市、篠山市、丹波市、南丹市、福知山市、京丹波町)の個性あふれる7人の作家が集結しました。展示のほか、町屋の芸術学校としてワークショップやギャラリートーク、ガイドツアーなどの催しが行われ、たくさんの人でにぎわいました。

できたよ!じょうとうまるごと丼(9月27日)

「じょうとうまるごと丼総選挙」が城東小学校で開催されました。これは、6年生20人が家庭科学習で「篠山まるごと丼」に興味を持ち、自分たちも地域の食材がいつまったらまるごと丼を作り、広めていこうと企画したもの。各グループが地元食材を使った5品を作り、市長をはじめ10人の審査員が試食。その味付けや彩りに感心していました。代表に選ばれたのは「うさぎ月見丼」。グループ代表の稲井朝子さんは、「ポイントは、うさぎの形をしたかまぼこです」と、喜びをあらわにしていました。



お土産の定番に「黒豆ふりかけ」新発売

農業者や加工者など17団体36人で構成される「丹波篠山食の未来塾」が、丹波篠山産の黒豆を主原料にした「黒豆ふりかけ」を考案し、販売がスタートしました。これまでは会員個々で生産・商品開発を行っていましたが、農業者・加工者・流通者の得意分野をつなぎあわせ、農業生産者が加工・販売までを一体化する6次産業化の取り組みとしても注目されています。篠山の美味しいお米との相性もバッチリ。丹波篠山味まつりでお披露目され、市内の観光施設などで販売されています。

